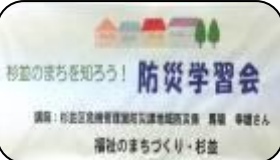


杉並のまちを知ろう！「防災学習会」

開催報告



主催：福祉のまちづくり・杉並



近年の災害は東日本大震災や御嶽山噴火、広島県の土砂災害など予想もされないような規模で襲いかかって来ています。首都圏でも大災害が発生すると言われていています。そんな中でも地域の防災の要綱など目にはしてもなかなか理解のまではいたりません。今回の学習会では他人事でなく自分の事と捉えるためにまず、自分の住んでいる地域の防災について学び、知る事を目的とし、開催致しました。



講師：杉並区防災課職員
馬場 幸雄氏

日時：2015年3月20日（金）
10：30～12：00

会場：杉並区産業商工会館3階 講堂
講師：杉並区危機管理室防災課地域防災係
防災対策担当・起震車担当
馬場 幸雄氏

参加人数：21名（4生協）
スタッフ 8名、計29名



☆タイムスケジュール☆

- 10：00 受け付け開始
- 10：30 開会・挨拶
- 10：35 講演
- 11：45 質疑応答
- 11：55 アンケート記入のお願い
閉会挨拶
- 12：05 終了



進行：小林さん
（生活クラブ生協）



開会挨拶：渡辺さん
（東京西部保健生協）

◆災害に対する杉並区の取り組みや備えについて◆

開口一番、講師の馬場さんから「今、自身が起こったらどこに逃げますか？
自宅だけでなく、出先などで特に自分がどこにいるかを意識しましょう！」

「この建物の一番近い避難所はどこかわかりますか？」と矢継ぎ早に言われ、参加者の皆さんはあっけにとられ、「どこだっけ？」と顔を見合わせました。杉並区には66か所、避難所があります。**災害が起きてからではなく、起こる前の予防をまず考える事です！**まず、家の中での危険な物・場所はありますか？開く扉（食器棚）はどうしてありますか？ストッパーを付けていますか？そうでないと、お皿やコップが落ちてガラスが散乱します！



タンスを固定する突っ張り棒はどこにしていますか？壁に寄せて、奥のほうに固定します。・・・前の方に固定しても揺れに耐えられません／吊り天井は持ちません／物が飛んで来て頭部、顔から上にケガをする事が多い。服を着ていない頭部などは、無防備なので守る／年に1回、区での訓練では、参集した区民が自主的に運営する組み立てにしているので、是非参加して欲しい／小さいお子さんがいる時の避難、どう動くか知ってますか？／

*震災避難所：震度5強以上の地震が発生した際、区内の小・中学校に開設される避難生活を送る場所で、区が管理している避難場所の事



（在宅避難の方も震災避難所で物資・情報の提供を受けられる）。1次に開設される。

*広域避難場所：主に大規模延焼火災が発生した場合、火の手から身を守るために避難する場所で、大きな公園や広場、河川敷等がしてされている。都が管理し、2次に開設される。

○家が無事で近くに火災の心配がなければあわてて避難の必要はないですが、火の手や煙が近くに見え、家の倒壊など危険を感じたら、すぐに避難しましょう！



★日頃から

- ・家族で避難場所や緊急時の連絡方法を決め、確認しましょう。
(杉並区防災マップの活用)
- ・非常持ち出し袋は、人が通り、持ちだしやすい玄関などに用意しておく。
- ・持ち出し袋は、外の納戸など、家が半壊しても取りだせる場所にも置いておく。
- ・自分はどうする?事を、普段から考えておく。

★避難する時の注意

- ・靴を履く。(ケガの防止)
- ・家を出る時には、ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉める。
- ・車は使わない!道路を塞いでしまい、緊急車両の通行に支障を来たします。

★高齢者家庭の地震対策

- ・災害弱者になりやすい高齢の方にとって、日頃から災害に備えておく事は大切。
- ・ご近所との普段からのコミュニケーションが大事、声をかけておく。
- ・持ち出し袋に、常備薬・処方箋・入れ歯・眼鏡・補聴器など入れておく。



質疑応答

Q: 大学など避難先になっているが、事前に町会などで見学などできますか?

A: 6大学と協定を結んでいるので、見学したいのであれば区の防災課に相談して下さい。

Q: 区境で、都立高が一番近いのでそこに避難しようと思っているが?

A: 小・中学校が1次収容となっており、都立高校は2次となっている。どこが開設したのかは、ホームページ・電話などで確認できる。

*災害用伝言ダイヤル、災害用ブロードバンド伝言板、災害用伝言板の活用。杉並区ホームページでも災害情報、気象情報等もお知らせしています。

杉並区では中学生も地域の防災活動を支援しています

アンケートから

✿ 18枚の提出がありました

取り組みがきちんとされている事がわかった/地震そのものより火災への不安が大きい/家族で避難場所の話はしていたが、小・中学校の確認を再度したい/杉並区に住んで日の浅い自分にとって、危険地帯などの情報を得られ有益でした/震災避難場所と広域避難場所の違いがわかりました/自助・共助・公助の順番で、まずは自分達の備えをしっかり行う事を再確認した/タンスのつかえ棒について学んだ/



応急救護・AED講習を是非受けて下さい!



閉会挨拶: 吉岡さん
(東京都生協連)

◆学習会を終えて

参加された皆さんが大変熱心に聞かれていました。赤ちゃんを抱いたお母さんも3組ほど参加され、子どもを持ったからからこそ、避難について考えると話してくれました。講師の馬場さんは、「何かわからない事や、こんな事ができないか!などのご意見・ご要望があれば、いつでも防災課のほうへ、来て下さい」と言って頂いたので、今日、話を聞いて感じた事は伝えていけると感じました。災害に関わらず、自助・共助が大切な事を改めて感じました。また、日頃の備えを各自で行い、家族やご近所とのコミュニケーションを築いておく事を再度、確認する事が出来ました。

